

創立40周年記念誌

2025年（令和7年）10月

柳井市少年少女発明クラブ



目 次

◆ 巻頭言

柳井市少年少女発明クラブ 運営委員長 吉中 孝志	1
--------------------------	---

◆ 祝辞

一般社団法人山口県発明協会 会長 福田 浩治	2
------------------------	---

柳井市長 井原 健太郎	3
-------------	---

柳井市教育委員会 教育長 西元 良治	4
--------------------	---

柳井市少年少女発明クラブ協力会 会長 田村 泰三	5
--------------------------	---

◆ 柳井市少年少女発明クラブ「40年のあゆみ」	6
-------------------------	---

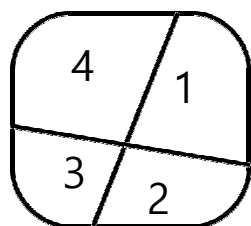
◆ 第31～40期 活動の記録	10
-----------------	----

◆ 第31～40期 受賞の記録	30
-----------------	----

◆ 保護者・指導員の声	35
-------------	----

◆ 第40期クラブ員の声	37
--------------	----

◆ 資料編	42
-------	----



表表紙の写真について：

1. ミニチュア「金魚ちょうちねぶた」 (2022.8)
2. 旧理科研修所、テレビ局取材の様子 (1996.1)
3. 新理科研修所 (2008.4 から利用を開始)
4. チャレンジ創造コンテストで文部科学大臣賞 (2024.12)

◆巻頭言

40周年記念誌の発刊にあたって

柳井市少年少女発明クラブ

運営委員長

吉中 孝志



「柳井市少年少女発明クラブ」は、昭和60年の発足以来、今年度で創立40周年を迎えることとなりました。

子どもの「理科離れ」が叫ばれ、その子どもの数自体も減少する中で、コロナ禍の影響がさらに拍車をかけ、世の中の多くの活動が縮減されていきました。

そのような中でも、我が「柳井市少年少女発明クラブ」は、「少年少女に科学的な興味と関心を追求できる場を提供し、家庭や学校環境から制約を離れた集団の中で創作活動を通じ完成の喜びを体得させ、科学的発想に基づく生活態度を育成するとともに、創造性豊かな人間形成を図ること」という目的を遂行するため、ひたむきに活動を継続・発展させてきました。

この活動が結実し、発明協会主催の絵画展・コンテスト等で多くの子どもたちの作品が出展され優秀な成果へと結びついています。とりわけ令和6年度においては、愛知県で開催された「第12回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」において、本クラブから2つの作品が県代表として選抜され、“YMT柳井”の「お助けマシーン」が最優秀賞にあたる文部科学大臣賞を受賞するという快挙を成し遂げました。

本年度においても、市内各小学校から47名のクラブ員の応募があり、令和7年度の発明クラブも活気ある活動が展開されています。

こうやって長い歴史と伝統を引き継ぎ、発展してこられたのは、多くの協力会員の皆様のご支援とご協力、指導員の熱く温かい指導と、保護者のサポートがあってこそのもので感謝申し上げます。

今後とも、子どもたちの「なぜ？」を大切に、子どもたちに豊かな創造性と人間性を育む「柳井市少年少女発明クラブ」の発展に向け、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、本クラブ協力会、指導員の方々をはじめ、記念誌の発行にご協力いただいた多くの皆様方に感謝とお礼を申し上げます。

◆祝辞

お祝いの言葉

一般社団法人山口県発明協会
会長
福田 浩治



柳井市少年少女発明クラブが創立40周年という節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

昭和60年、山口県内で初の少年少女発明クラブとして誕生して以来、地域に根ざした発明・創造活動の拠点として、次世代を担う多くの人材を育成されてきました。その歩みは、山口県における青少年の科学技術教育の先駆けであり、クラブの活動が地域にもたらした意義は計り知れません。

「チャレンジ創造コンテスト全国大会」や「やまぐち発明くふう展」、「やまぐち未来の科学の夢絵画展」などへのご参加に加え、令和6年度には「お助けマシーン」の作品が文部科学大臣賞を受賞されるなど、県内外で高い評価と輝かしい成果を挙げられました。

これはひとえに、運営委員や指導員、協力会の皆様の温かいご支援とご尽力の賜物であり、深く敬意を表します。

日本の未来を担う科学技術は、子どもたちの柔軟な発想と、失敗を恐れない挑戦から生まれます。創造力と挑戦力を育む柳井市少年少女発明クラブは、今後ますます重要な役割を果たしていくことでしょう。

山口県発明協会といたしましても、変わらぬご支援を続けてまいりますとともに、貴クラブが今後も地域の皆様の力を結集し、さらに飛躍されますことを心よりお祈り申し上げます。

最後に、創立40周年を迎えられた柳井市少年少女発明クラブの皆様に、改めてお祝いを申し上げます。

柳井市少年少女発明クラブ40周年を祝して

柳井市長
井原 健太郎



柳井市少年少女発明クラブ創立40周年を心からお祝い申し上げます。貴クラブが、山口県初の発明クラブとして開設されて以来40年間、社団法人発明協会、同山口県支部、柳井市少年少女発明クラブ協力会、指導員、保護者会等の皆様のお力により、本市の子どもたちは、学び、創る喜びを感じ、発想する力、創意工夫する力、物を作り出す力を育んできました。ご尽力された全ての方々に厚く敬意を表し深く感謝いたします。

昨年は、貴クラブの出場チームが第12回全国少年少女チャレンジ創造コンテストで最高賞である文部科学大臣賞を受賞されました。注目度のある防災をテーマに、南海トラフ巨大地震発生から避難所までの一連の流れの中で、避難者の癒しという細部にまでこだわり、試行錯誤し改良を繰り返してこられた結果であると、納得と感服したパフォーマンスでした。子どもたちには、これからも発明クラブでの活動を通して様々なことに興味を持って経験を積んでほしいと思います。そのことで、将来、社会人となり、発明クラブの経験が活きる、培われた創造力を発揮する場面が必ず訪れると信じています。

今後とも、指導員の方々の指導のもとで、子どもたちが成長し、貴クラブがますます発展されることを祈念し、ご挨拶いたします。

お祝いの言葉

柳井市教育委員会

教育長

西元 良治



柳井市少年少女発明クラブ発足40周年、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

昭和60年に小学5・6年生60名で発足した本クラブは、以来40年間、クラブ員の自由な発想や「やってみたい」という意欲を大切に、科学やものづくりの魅力と奥深さを伝えてこられました。科学実験や木工、ロボット、電子工作の他、県内企業等の外部講師による講座を通じ、発想力・創意工夫力・やり抜く力を育み、この経験は皆さんが未来を切り拓く力となり、人生を支える大切な礎となることでしょう。

昨年度の「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」では、2チームが予選を勝ち抜き、県代表として出場した全国大会では、「YMT柳井チーム」が、文部科学大臣賞を受賞されました。この栄誉は、活動に真摯に取り組んだクラブ員の努力と指導員の先生方の熱意、そして保護者や協力会員の皆様の温かなご支援の賜物であり、地域にとっても大きな誇りであります。また、本クラブは、県内発明クラブとの交流会や「未来の科学の夢」絵画展を通じ、志を同じくする仲間と出会い、互いに切磋琢磨する場ともなっております。ここで得られた経験や友情は、皆さんの生涯で忘れられない貴重な財産となることでしょう。

40年間の活動を可能にしたのは、地域の皆様の「子どもたちの未来を応援したい」という熱い思いと温かなまなざしです。今後も本クラブで培った探究心と忍耐力を、学校生活や家庭、さらには将来の夢の実現に生かされることを心から願っております。

結びに、柳井市少年少女発明クラブの一層のご発展と、クラブ員一人ひとりの輝かしい未来を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

柳井市少年少女発明クラブ40周年記念お祝い

柳井市少年少女発明クラブ協力会
会長
田村 泰三



柳井市少年少女発明クラブが40周年を迎えることになりました。宝計機製作所の社長で柳井ロータリークラブの会員であった政田敏男さんが立ち上げられました。政田さんは若いころから発明することに情熱を燃やし、中でも自然薯を筒の中で栽培し、抜きやすくまた調理しやすいものにされました。皇室に献上されたこともあります。晩年には、未完成ですが一人用のテントのような冷暖房装置を考えておられました。

協力会は、柳井西ロータリークラブの会員であった大和清美さんが作られました。以来40年を経過したことになります。先輩のご尽力に感謝いたします。小学生の児童さんたちが競って発明クラブに入会してきました。学校の授業では学べない勉強ができます。色々な工作、安全に生活するための工夫、未来のための夢などです。指導員の先生たちが、献身的に運営を支えてくださいました。保護者の方々も指導助手として応援していただいています。会員がエジソンのような発明家になるかもしれません。そのようになることを冗談ではなく楽しみにしています。

現在、発明クラブの協力会にはロータリークラブの会員を中心に54名の方々になっていただいております。もう少し増員できればと思っています。発明クラブで学んだ児童の中には、日本銀行下関支店の支店長を歴任した人や全国コンクールで最優秀賞を受賞した児童さんたちもいます。将来、人の生活に貢献するような発明や安全に生活できるような工夫をしてくれることを期待しています。

今後ますます充実され、発展して小学生の夢が実現するように願っております。

◆柳井市少年少女発明クラブ「40年のあゆみ」

当クラブは、1985年（昭和60年）8月に山口県初（全国では74番目）の少年少女発明クラブとして発足した。

この40年間を、写真や資料を基に振り返る。

◎第1期～10期 [1985 - 1994]

当クラブの発足式は1985年（昭和60年）8月に行われた。クラブ員数60名。

10周年記念誌に掲載された当時の新聞記事を再掲する。

講座は、柳井小学校の旧校舎内にあった旧理科研修所において行われた。
(2005年(平成17年)度まで)



教室棟に挟まれた中央の棟の右半分が
旧理科研修所（1993年4月に撮影）



昭和60年8月3日山口県下初の
柳井市少年少女発明クラブ発足
式（式場 柳井市労働会館）

一昨年、柳井小学校の卒業文集「四つ葉」（昭和60年度）を入手した。この中には、発明クラブに関して熱い気持ちで綴られた第1期生の作文が掲載されており、ご本人の了解のもと、原文のまま、ここに掲載する。

科学する子供を育成

県下初の少年少女発明クラブ

柳井市労働会館で発足式

柳井市教育委員会（支）
柳井市山口市東支部（支）
部長平井龍興知事が、
「発明協会本部へ開會を
申請して認可された柳井市
少年少女発明クラブが、柳
井市内各小学校五・六年生
から募集した定員六十人
八月三日十時までに柳井市
労働館で発式を行なう」
これは、少年少女に科学
の興味と関心を追求する
ための新試みである。この
場合を提供し、集団の中で
創作活動を通じて完成の喜
びや得る喜び、科学的発想
及び生活態度を育成する
と共に、創造性豊かな人
間形成を図ることと目的と
し、楽しみながら自由の発
想で製作や加工を行う。特
定テーマで創意工夫し、各
校が製作活動をする。指導

発明協会本部では、少年
少女発明クラブの開設を
奨励、現在まづに全国で
動かし、現行まづに柳井市
の申請より始めて第一号
として開設される。

会員は柳井市内の小学校
五年生以上中学校三年生以
下の児童生徒とするが、当
分の間に小学生のみとし、
六十人を定員に募集したと
ころ柳井、新庄、赤田、小
山、阿月、新庄、余田の七
校から応募者が殺到し、定
員が足りぬ。各校校長、協
力の代表者、理科関係教師
力を合せて、総務部へ指
導員部会で、年間計画（演
習、運営、指導）に三つ。
開講期間は毎四月から
翌年三月までの一年間で、
一回を基準とし、土曜日
を原則に開講するが、今年
度は八月より開講し、三
月までは八月から基礎課
工作（紙の電気、木材・竹
材・板金・電気の加工）ア
イデア工作、応用工作、ク
ラブ作品展を計画されてい
る。

足見支部には発明協会本部
山口県支部長、市長、議
議長、協力会々々、運営委員等が参列し、激励の言葉交
わすなど、記念撮影もあ
らう。

言葉などが行われる。発売式終了後映画会を実施し、映画「ぼくのロボット」を見て勉強する。



場所：労働会館（現在の「アクティブやない」）

発明クラブに入って

重本 浩志

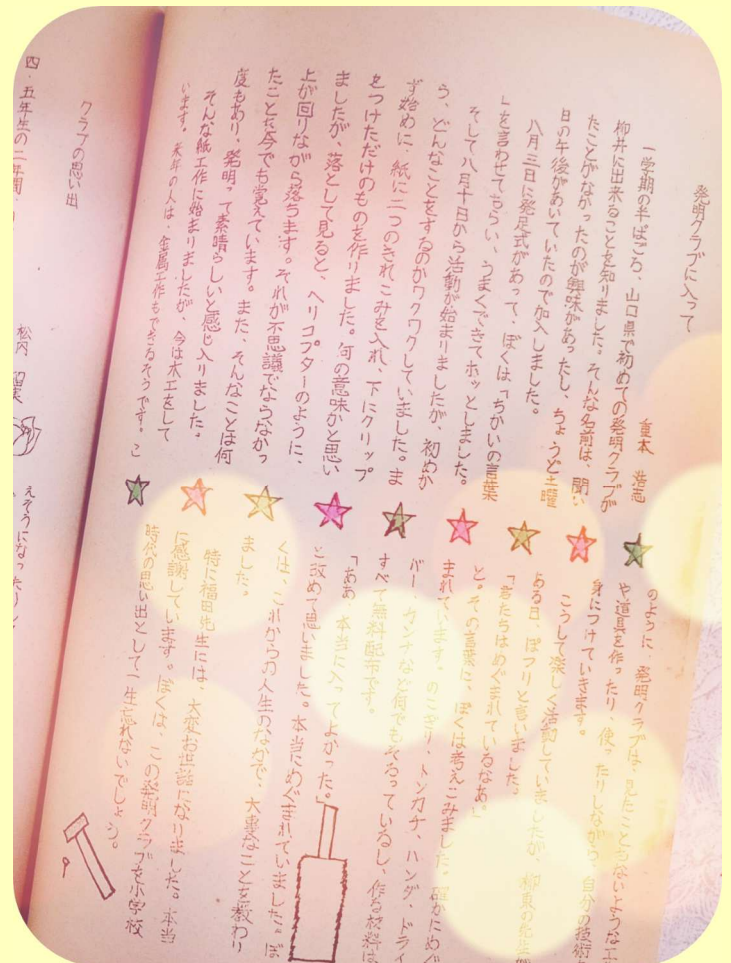
一学期の半ばごろ、山口県で初めての発明クラブが柳井に出来ることを知りました。そんな名前は、聞いたことがなかったのが興味があったし、ちょうど土曜日の午後があいていたので加入しました。

八月三日に発足式があって、ぼくは「ちかひの言葉」を言わせてもらい、うまくできてホッとしました。

そして八月十日から活動が始まりましたが、初めから、どんなことをするのかワクワクしていました。まず始めに、紙に二つのきれこみを入れ、下にクリップをつけただけのものを作りました。何の意味かと思いましたが、落としてみると、ヘリコプターのように、上が回りながら落ちます。それが不思議でならなかったことを今でも覚えています。また、そんなことは何度もあり、発明って素晴らしいと感じ入りました。

そんな紙工作に始まりましたが、今は木工をしています。来年の人は、金属工作もできるそうです。このように、発明クラブは、見たこともないような工作や道具を作ったり、使ったりしながら、自分の技術を身につけていきます。

こうして楽しく活動していましたが、柳東の先生がある日、ぽつりと言いました。「君たちはめぐまれているなあ。」と。その言葉に、ぼくは考えこみました。確かにめぐまれています。のこぎり、トンカチ、ハンダ、ドライバー、カンナなど何でもそろっているし、作る材料はすべて無料配布です。



「ああ、本当に入ってよかった。」と改めて思いました。本当にめぐまれていました。ぼくは、これからの人生のなかで、大事なことを教わりました。

特に福田先生には、大変お世話になりました。本当に感謝しています。ぼくは、この発明クラブを小学校時代の思い出として一生忘れないでしょう。

重本 浩志 氏

日本銀行 欧州統括役ロンドン事務所長
(前下関支店長)
2025年6月2日現在

◎第11期～20期 [1995 - 2004]

1996年(平成7年)2月には、中国地方4局で「ふれあいの道 明日のエジソンを育てる」(TYSテレビ山口)という15分間の番組が放送された。



中央は専任指導員の森山洋司氏
(2024年2月に逝去された)

その影響もあり翌年度はクラブ員が過去最多の85名となった。当時は空き教室も多くあり3クラスに分けて対応をした。

2001年(平成13年)から始まった文部科学省が主催の「ものづくり体験教室全国大会」においては、初回から積極的にエントリーし、その第1回大会のゴム動力カー部門において、第1位と第2位を柳井のクラブ員が受賞した。翌年「山口県広報誌 ふれあい山口」(2002年4月号)の表紙を飾った。



◎第21期～30期 [2005 - 2014]

柳井小学校の新校舎への建て替えに伴って旧理科研修所も新設されることとなった。このため2006年(平成18年)からの2年間は小学校の教室などを使用して講座を行い、2008年度から新しい理科研修所の利用を開始した。2010年(平成22年)9月には、協力会からの支援を受けて待望のエアコンを設置することができた。

この年から始まった「第1回チャレンジ創造コンテスト」に出場したクラブ員のチームが「発明協会会長賞」(第3位)を受賞した。



第1回チャレコンで発明協会会長賞
新庄最強チーム「ジャンボタイヤカー」

当クラブの第1期から28期(2012年(平成24年))6月まで28年間に亘って指導員を続けた河村信男氏が同年10月に逝去された。河村氏は、柳井市の民芸品として広く知られている「金魚ちょうちん」づくりの名人としても長年活躍された。



◎第31期～40期 [2015 - 2024]

2020年から2022年における新型コロナウイルス感染症対策については、基本的には市内の小中学校での対応に準じた。長期間の中止や大幅な縮小開催も検討項目に上がったが、少しでも多く開催機会を増やすため、クラスを2つに分け、少人数ずつ午前と午後の2回開催することで対応した。

開催できなかった時期には、指導員だけで集まり、新しい教材の研究をしたり、クラブ員の作業環境の改善にも取り組んだ。その一例として木工作業台の製作を以下に紹介する。

研修所の作業台は小学生にとっては高すぎるため木工作業時には無理があった。そこで台に収納可能な低い作業台をツーバイフォー材で製作したところ、クラブ員たちも使いやすくなり、木工作品の精度も向上した。



作業台を出したところ



作業台を収納したところ

節目にあたる第40期(2024年)の「第12回チャレンジ創造コンテスト全国大会」において、最高位である文部科学大臣賞を受賞した。翌2025年2月の「広報やない」の表紙を飾った。



また、2024年には、発明協会からの助成を受けて3Dプリンターを購入した。試行錯誤を重ねながら木工用の治具を製作して活用した。来年度からは工作用の部品の製作などにも取り組む予定。



第31期 活動記録 [2015 (H27) .4 ~ 2016 (H28) .3]

- ◆ クラブ員数 : 48名 (3年14名・4年10名・5年12名・6年12名)
◆ 主な指導員 : 3名 (山方(専任)・森田・岩政)

月 日	分 類	講 座 名	講座の内容 など
4	11 (式典)	開講式・創立30周年記念式典	場所:柳井市文化福祉会館
	25 電気工作	電磁石ベルを作ろう-1	「LEDライト付き電磁石ベル」のキットづくり
5	9 電気工作	電磁石ベルを作ろう-2	
	23 乗物工作	わくわく工作	「三角コプター」のキットづくり
6	13 工芸	チャレンジモノづくり	やわらかい高ろう石を使っのてのまが玉づくり
	27 理科工作	おもしろ実験	中学校の先生方による講座 飛んでいくアルソミトラの種の模型づくり
7	11 絵画	未来の科学の夢絵画	夏休み明けまでに描きあげて応募
	25 乗物工作	アイデア工作-1	自分のアイデアを活かしての「プロペラカー」のキットづくり
8	4 (交流会)	山口県発明クラブ交流会	場所:山口市児童センター 16名が参加
	8 乗物工作	アイデア工作-2	
	22 乗物工作	アイデア工作-3	自作のプロペラカーによる5m走行コンテスト
9	12 ロボット工作	ミニロボットづくり-1	ロボット競走馬「メカダービー」のキットづくり
	26 ロボット工作	ミニロボットづくり-2	「メカダービー」によるレース
10	10 工芸	竹とんぼを作ろう	小刀を使っのての伝統的な竹とんぼづくり
	24 観察	ミクロの世界をのぞいてみよう	岩国市由宇町ミクロ生物館による出前講座 海の微生物の観察
11	14 工芸	オリジナルキャンドルをつくろう	ロウをとかしてカラフルなキャンドルづくり
	28 教養・観察	イカを解剖してみよう	中学校の先生方による講座 生のイカを解剖・観察
12	12 電子工作	LED点灯回路を組んでみよう-1	ブレッドボードを使っのてLED点灯回路の学習
	19 電子工作	LED点灯回路を組んでみよう-2	ろうそくIC、点滅ICを使っのての回路の学習
1	9 工芸	チャレンジ工作	「連風」、「スカイカイト」のキットづくり
	23 工芸・造形	記念作品づくり-1	小さなレンガ状の木片と木のスティックを使っのて「ログハウス貯金箱」のキットづくり
2	13 工芸・造形	記念作品づくり-2	
	27 パズル・(式典)	閉講式・閉講の集い	場所:理科研修所 児童・保護者が参加 閉講の集い:マッチ棒パズル
3	(活動発表)		柳井ロータリー・柳井西ロータリー例会にて



◆夏休みの工作◆

自作のプロペラカー
による5m走行
コンテスト

顕微鏡で海の微生物を観察



柳井駅から交流会に出発！



湯煎でロウをとかしてキャンドルづくり

第 32 期 活動記録 [2016 (H28) .4 ~ 2017 (H29) .3]

◆ クラブ員数 : 55名 (3年23名・4年20名・5年6名・6年6名)

◆ 主な指導員 : 4名 (野村(専任)・山方・森田・岩政)

月 日	分 類	講 座 名	講座の内容 など
4	16 (式典)	開講式	場所:柳井市文化福祉会館
	23 乗物工作	模型飛行機づくり-1	ゴム動力で飛ぶ「プロペラ模型飛行機」のキットづくり
5	14 乗物工作	模型飛行機づくり-2	
	28 乗物工作	船づくり-1	スクリューで進む「ゴム動力の船」のキットづくり
6	11 乗物工作	船づくり-2	
	25 理科実験・工作	牛乳パックを使ったカメラづくり	中学校の先生方による講座
7	9 絵画	未来の科学の夢絵画	夏休み明けまでに描きあげて応募
	23 乗物工作	アイデア工作-1	自分のアイデアを活かした「プロペラカー」のキットづくり
8	2 (交流会)	山口県発明クラブ交流会	場所:山口市児童センター 5名が参加
	13 乗物工作	アイデア工作-2	
	27 乗物工作	アイデア工作-3	プロペラカーによる 5mの走行コンテスト
9	10 ロボット工作	プチロボづくり-1	リモコンで自在に動かせる「プチロボ(小さなロボット)」のキットづくり
	24 ロボット工作	プチロボづくり-2	
10	8 理科実験	いろいろなスライムを作ってみよう	せんたくのり(PVA)を使ってのスライムと大きなシャボン玉づくり
	22 理科実験	化石のレプリカづくり	山口博物館による出前講座 石こうを使っての化石レプリカづくり
11	12 楽器	竹を使ったおもちゃづくり	ウグイス笛と紙玉でっぽうづくり
	26 理科実験	おもしろ実験	中学校の先生方による講座 「熱気球」と「マグデブルクの半球」の実験
12	10 電子工作	LED点灯回路を組んでみよう-1	ブレッドボードを使ってのLED点灯回路
	17 電子工作	LED点灯回路を組んでみよう-2	
1	14 理科工作	ワンド万華鏡づくり	水を入れた透明な杖状(ワンド)のホース使った万華鏡のキットづくり
	28 工芸・造形	記念作品づくり-1	小さなレンガ状の木片と木のスティックを使った「レンガハウス貯金箱」のキットづくり
2	11 工芸・造形	記念作品づくり-2	
	25 理科工作・(式典)	閉講式・閉講の集い	場所:理科研修所 閉講の集い:CDと単三電池でコマを作ろう
3	(活動発表)		柳井ロータリー・柳井西ロータリー例会にて



化石のレプリカづくり と 標本の見学



せんたくのり（PVA）を使った実験



◆理科実験◆

熱気球
と
マグデブルクの半球

第 33 期 活動記録 [2017 (H29) .4 ~ 2018 (H30) .3]

◆ クラブ員数 : 43名 (4年19名・5年18名・6年6名)

◆ 主な指導員 : 3名 (野村(専任)・森田・岩政)

月 日	分 類	講 座 名	講座の内容 など
4	15 (式典)	開講式	場所:柳井市文化福祉会館
	22 ロボット工作	メカビートルづくり-1	リモコンで自在に動く「メカビートル」のキットづくり
5	13 ロボット工作	メカビートルづくり-2	
	27 乗物工作	スーパー紙飛行機づくり	ゴムを付けたカタパルトから飛ばす飛行機づくり
6	10 理科実験	おもしろ実験	中学校の先生方による講座 「バニラアイスづくり」「カイロのひみつ」
	24 工芸	竹とんぼづくり	小刀を使っの伝統的な竹とんぼづくり
7	8 絵画	未来の科学の夢絵画	夏休み明けまでに描きあげて応募
	22 木工工作	木箱づくり-1	木工の基礎を実習
8	1 (交流会)	山口県発明クラブ交流会	場所:山口市児童センター 15名が参加
	12 木工工作	木箱づくり-2	カントリー風の木箱と飾り棚づくり
	26 木工工作	木箱づくり-3	
9	9 理科工作	ペットボトル・エコライトづくり	中国電力による出前講座
	23 乗物工作	パタパタ船づくり-1	牛乳パックを使っのゴム動力船づくり
10	14 乗物工作	パタパタ船づくり-2	
	28 理科工作	電動ゴマづくり	水中モーターとCDを使っの電動ゴマづくり
11	11 理科工作	二足で立つ人形づくり	ジャイロ効果によって二足で立つ人形づくり
	25 理科実験	おもしろ実験	中学校の先生方による講座 いろいろな粉体を使っの燃焼の実験
12	9 工芸	和風(わだこ)づくり-1	和風のキットづくり
	16 工芸	和風(わだこ)づくり-2	
1	13 木工工作	記念作品づくり-1	夏の木工工作の経験を活かしての少しむずかしい「フラワースタンド」のキットづくり
	27 木工工作	記念作品づくり-2	
2	10 木工工作	記念作品づくり-3	
	24 理科工作・(式典)	閉講式・閉講の集い	場所:理科研修所 閉講の集い:ビー玉がカベをすりぬける?!
3	(活動発表)		柳井ロータリー・柳井西ロータリー例会にて

離島の平郡東小から3名が初参加。



山口県発明クラブ交流会



電車での旅は楽しいな!!

◆パタパタ船づくり◆
牛乳パックを使つての
ゴム動力船



フラワースタンド（平郡東小のクラブ員）

第34期 活動記録 [2018 (H30) .4 ~ 2019 (R01) .3]

◆ クラブ員数 : 43名 (4年11名・5年21名・6年11名)

◆ 主な指導員 : 3名 (野村(専任)・森田・岩政)

月 日	分 類	講 座 名	講座の内容 など
4	14 (式典)	開講式	場所:柳井市文化福祉会館
	28 ロボット工作	メカ・クワガタをつくろう-1	リモコンで動く「メカ・クワガタ」のキットづくり
5	12 ロボット工作	メカ・クワガタをつくろう-2	
	26 理科実験	科学実験	中学校の先生方による講座 「ブラックライトで光る世界」「草木染め」
6	9 乗物工作	2種類の飛行機をつくろう-1	「パタパタ飛行機」「三角コプター」のキットづくり
	23 乗物工作	2種類の飛行機をつくろう-2	
7	14 絵画	未来の科学の夢絵画	夏休み明けまでに描きあげて応募
	28 理科工作	モーターを使ったおもちゃづくり-1	偏心モーターによる振動で動き回るおもちゃづくり
8	7 (交流会)	山口県発明クラブ交流会	場所:山口市児童センター 17名が参加
	11 理科工作	モーターを使ったおもちゃづくり-2	
	25 理科工作	万華鏡づくり	偏光板を使った万華鏡づくり
9	8 観察	海の微生物たちを観察しよう	岩国市由宇町ミクロ生物館による出前講座
	22 科学実験	吸水性ポリマーを使った手品	コップに注いだ水がこぼれてこない?!
10	13 工芸・造形	PPバンドを使ったかごづくり	
	27 電子工作	LEDを使った電子工作-1	ハンダ付けやテスターの使い方も学習
11	10 電子工作	LEDを使った電子工作-2	暗くなると光るセンサーライトづくり
	24 理科実験	科学実験	中学校の先生方による講座 「空き缶ロケット」「備長炭電池」
12	1 工芸	凧(たこ)づくり	
	15 理科工作	キャンドルづくり	ろうをとかしてカラフルなキャンドルづくり
1	12 木工工作	ペン立てづくり	木工の基礎を実習
	26 木工工作	記念作品づくり-1	「本立て」のキットづくり
2	9 木工工作	記念作品づくり-2	
	23 理科実験・(式典)	閉講式・閉講の集い	場所:理科研修所 児童・保護者が参加 閉講の集い:ぐにゃぐにゃ輪ゴムを転がそう
3	(活動発表)		柳井ロータリー・柳井西ロータリー例会にて

◆親子での工作◆

リモコンで自在に動く
メカ・クワガタ
の製作



吸水性ポリマーを使った手品



偏光板を使った万華鏡



PPバンドを使ったかごづくり

第35期 活動記録 [2019 (R01) .4 ~ 2020 (R02) .3]

- ◆ クラブ員数 : 47名 (4年19名・5年7名・6年21名)
- ◆ 主な指導員 : 4名 (野村(専任)・森田・船戸・岩政)

月 日	分 類	講 座 名	講座の内容 など
4	13 (式典)	開講式	場所:柳井市総合福祉センター
	27 ロボット工作	アームクローラーづくり-1	「アームクローラー」のキットづくり
5	11 ロボット工作	アームクローラーづくり-2	
	25 科学実験	科学実験	中学校の先生方による講座 「ふわふわクラゲ」「牛乳パックのカメラ」
6	8 乗物工作	水陸両用車をつくろう-1	牛乳パックを使ったゴム動力の水陸両用車づくり
	22 乗物工作	水陸両用車をつくろう-2	
7	13 絵画	未来の科学の夢絵画	夏休み明けまでに描きあげて応募
	27 ロボット工作	アームクローラーの改造-1	トグルスイッチを使ったりモコンの自作
8	6 (交流会)	中止	台風のため
8	10 ロボット工作	アームクローラーの改造-2	
	24 ロボット工作	アームクローラーの改造-3	各自が思いおもいに改造
9	14 理科工作・観察	化石のレプリカづくり	山口博物館による出前講座 石こうを使っの化石レプリカづくり
	28 木工工作	小さなイスを作ろう-1	子供が座れる丈夫なイスづくり
10	12 木工工作	小さなイスを作ろう-2	
	26 理科工作	ワンド万華鏡を作ろう	水を入れた透明な杖状(ワンド)のホースを使った万華鏡のキットづくり
11	9 楽器	楽器づくり	タピオカストローを使ったパンフルートづくり
	30 科学実験	極低温の世界と低融点合金	中学校の先生方による講座
12	14 電子工作	LEDを使った電子工作-1	LEDとブレッドボードを使った電気回路
	21 電子工作	LEDを使った電子工作-2	高感度スイッチ・電子オルゴールづくり
1	11 工芸・造形	記念作品づくり-1	小さなレンガ状の木片と木のスティックを使った「レンガハウス貯金箱」のキットづくり
	25 工芸・造形	記念作品づくり-2	
2	8 工芸・造形	記念作品づくり-3	
	22 理科工作・(式典)	閉講式・閉講の集い	場所:理科研修所 閉講の集い:偏光板万華鏡づくり
3	(活動発表)		柳井ロータリー・柳井西ロータリー例会にて



牛乳パックを使った水陸両用車



液体窒素を使った極低温の実験

◆楽器づくり◆
タピオカストローを
使った
パンフルート



第36期 活動記録 [2020 (R02) .4 ~ 2021 (R03) .3]

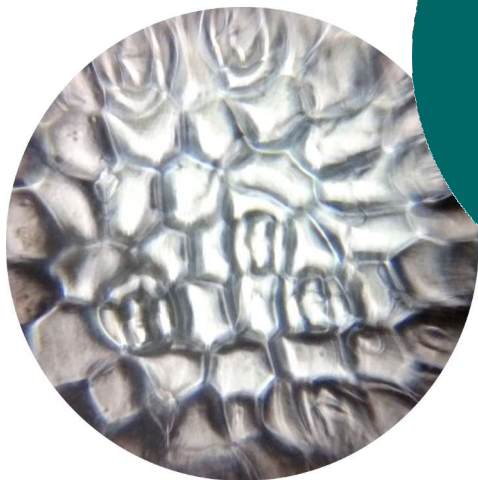
- ◆ クラブ員数 : 48名 (4年19名・5年22名・6年7名)
- ◆ 主な指導員 : 4名 (野村(専任)・森田・船戸・岩政)

月 日	分 類	講 座 名	講座の内容 など
4	11 (式典)	開講式 (中止)	新型コロナのため
	25 -	(休講)	新型コロナのため
5	9 -	(休講)	新型コロナのため
	23 -	(休講)	新型コロナのため
6	13 電子工作	LEDのいろいろな点灯回路-1	ブレッドボードを使ったLED点灯回路
	27 電子工作	LEDのいろいろな点灯回路-2	トランジスタを使った高感度スイッチ回路
7	11 工芸・造形	テンセグリティをつくろう	硬めのカラーストローとカラー輪ゴムを使った不思議な立体「テンセグリティ」づくり
	25 乗物工作	水中モーターを使った工作-1	船づくり
8	(交流会)	(中止)	新型コロナのため
	8 乗物工作	水中モーターを使った工作-2	CDこまづくり
	22 乗物工作	水中モーターを使った工作-3	水陸両用車づくり
9	12 木工工作	箱と本棚づくり-1	木工の基本を実習
	26 木工工作	箱と本棚づくり-2	かくし箱付きの本棚づくり
10	10 木工工作	箱と本棚づくり-3	
	24 絵画	オリジナルかさづくり	外部の専門講師による講座 チョーク画材で描いたオリジナルかさづくり
11	14 木工工作	箱と本棚づくり-4	バーナーで焼杉などをして仕上げ
	28 ロボット工作	メカロボットづくり-1	2足歩行の「メカダチョウ」のキットづくり
12	12 ロボット工作	メカロボットづくり-2	リモコンに改造
	19 ロボット工作	メカロボットづくり-3	方向転換できるように工夫
1	9 理科工作・観察	顕微鏡を作って色々なものを観察しよう	直径2mmのガラス玉を使っのレーウエンフック顕微鏡づくり・花粉や気孔などを観察
	23 電子工作	オルゴールごまをつくろう-1	回すとLEDも点灯する「オルゴールごま」のキットづくり ハンダ付けの実習
2	13 電子工作	オルゴールごまをつくろう-2	
	27 理科工作・(式典)	閉講式・閉講の集い	場所:理科研修所 閉講の集い:10分以上止まらないコマ
3	(活動発表)		柳井ロータリー・柳井西ロータリー例会にて

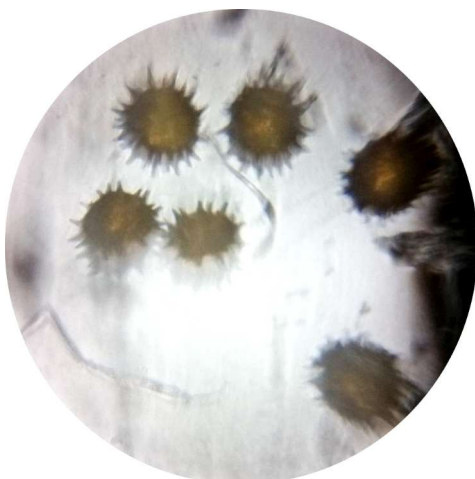
新型コロナウイルス感染症の影響で4月・5月は中止となった。
その間関係者で協議を行い、6月から午前(9:00~11:00)24名、午後(13:30~15:30)24名の二組に分けて全講座を開催した。

◆レーウェンフック
顕微鏡◆

タブレットを使って
撮影（約150倍）



ツユクサの気孔（スンプ法による）



ムクゲの花粉



蚊のハネ



テンセグリティづくり



オリジナルかさづくり



オルゴールごま

第37期 活動記録 [2021 (R03) .4 ~ 2022 (R04) .3]

- ◆ クラブ員数 : 44名 (4年9名・5年18名・6年17名)
- ◆ 主な指導員 : 4名 (野村(専任)・森田・船戸・岩政)

月 日	分 類	講 座 名	講座の内容 など
4	10 (式典)・ロボット工作	開講式	場所:理科研修所 (関係者・児童のみ)
	24	ロボット工作	リモコンで動く「メカ・カブトムシ」のキットづくり
5	8	ロボット工作	かっこいいロボットをつくろう-2
	22	—	(休講) 新型コロナのため
6	12	—	(休講) 新型コロナのため
	26	工芸・造形	美しい形の工芸品をつくろう-1 三色の細めのストローを使ってフィンランドの工芸品「ヒンメリ」作りに挑戦
7	10	工芸・造形	美しい形の工芸品をつくろう-2
	24	電子工作	LEDを使った電子工作-1 LEDとブレッドボードを使った電気回路
8	(交流会)	(中止)	新型コロナのため
	14	—	(休講) 新型コロナのため
	28	—	(休講) 新型コロナのため
9	11	—	(休講) 新型コロナのため
	25	—	(休講) 新型コロナのため
10	9	電子工作	LEDを使った電子工作-2 各種モジュールを使った留守録音機づくり
	23	木工工作	使える木工作品をつくろう-1 テトリス棚づくり
11	13	木工工作	使える木工作品をつくろう-2
	27	理科工作	モーターを使った工作-1 簡単なコイルモーターをつくって基礎を学習
12	11	理科工作	モーターを使った工作-2 「三極モーター」のキットづくり
	18	乗物工作	モーターを使った工作-3 自作の「三極モーター」を使った車づくり
1	8	—	(休講) 新型コロナのため
	22	—	(休講) 新型コロナのため
2	12	—	(休講) 新型コロナのため
	26	(式典)	閉講式 場所:理科研修所 (関係者・児童のみ)
3	(活動発表)		柳井ロータリー・柳井西ロータリー例会にて

午前(9:00~11:00)22名、午後(13:30~15:30)22名の二組に分けて講座を開催した。
新型コロナウイルス感染症の影響で三度に亘って休講とした。



◆モーターの製作◆

- ①コイルモーター
- ②三極モーター
- ③自動車づくり



ストローを使った
ヒンメリづくり



カブトムシのロボットで対戦！



スピーカーを使った電子工作

第38期 活動記録 [2022 (R04) .4 ~ 2023 (R05) .3]

◆ クラブ員数 : 51名 (4年7名・5年30名・6年14名)

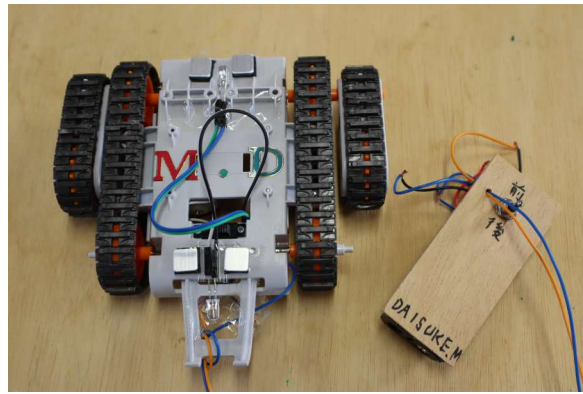
◆ 主な指導員 : 5名 (岡崎(専任)・野村・森田・船戸・岩政)

月 日	分 類	講 座 名	講座の内容 など
4	9 (式典) 工芸・造形	開講式・レンガ・ハウスをつくろう-1	場所:理科研修所(児童のみ) 開講式に引き続き初回の講座を実施
	23 工芸・造形	レンガ・ハウスをつくろう-2	小さいレンガ状の木片を使った「レンガハウス」のキットづくり
5	14 工芸・造形	レンガ・ハウスをつくろう-3	
	28 乗物工作	ゴム動力で進む船をつくろう-1	牛乳パックを使ったゴム動力の水陸両用車づくり
6	11 乗物工作	ゴム動力で進む船をつくろう-2	
	25 科学実験	くだもの電池	中学校の先生方による講座
7	9 絵画	未来の科学の夢絵画	夏休み明けまでに描きあげて応募
	23 パズル	パズルをつくって遊ぼう	5ピースのパズルづくり 作図においてコンパスの使い方を学習
8	6 工作	モーターを使って工作しよう-1	振動モーターの台座に金魚ちょうちんのクラフトを乗せ「金魚ちょうちんねぶた」を製作
	8 (交流会)	山口県発明クラブ交流会	場所:KDDI維新ホール 10名が参加
	20 工作	モーターを使って工作しよう-2	
9	10 電子工作	電子回路について学ぼう-1	ブレッドボードを使ったLED点灯の基礎回路
	24 電子工作	電子回路について学ぼう-2	階段スイッチの回路・明暗センサーの回路
10	8 観察	海の微生物たちを観察しよう	岩国市由宇町ミクロ生物館による出前講座 プランクトンなどを顕微鏡を使って観察
	22 理科実験・工作	あわあわ入浴剤を作ろう	トクヤマ化楽クラブによる出前講座 炭酸ガスが出る入浴剤づくり
11	12 ロボット工作	かっこいい「ロボット」をつくろう-1	「アームクローラー」のキットづくり
	26 ロボット工作	かっこいい「ロボット」をつくろう-2	
12	10 ロボット工作	かっこいい「ロボット」をつくろう-3	LED点灯や手作りのリモコンなどによる改造
	17 工芸	オリジナルのクリスマス・キャンドルをつくろう	湯煎で溶かしたロウにオイルクレヨンを混ぜて着色したキャンドルづくり
1	14 木工工作	使える木工作品を作ろう-1	練習のための小型のペン立てづくり
	28 木工工作	使える木工作品を作ろう-2	4枚の板を丸い箸で連結させた「スライド本立て」づくり
2	11 木工工作	使える木工作品を作ろう-3	仕上げ
	25 (式典)	閉講式	場所:理科研修所
3	(活動発表)		柳井ロータリー・柳井西ロータリー例会にて

この年も新型コロナウイルス感染症の影響で、午前(9:00~)25名、午後(13:30~)26名の二組に分けて全講座を開催した。
今年度から(株)トクヤマ(トクヤマ化楽クラブ)による出前講座を開始。



くだもの電池の実験



アームクローラー用のリモコンの自作



炭酸ガスの入浴剤づくり



◆夏休みの工作◆
 電動モーターで自在に動き回る
 金魚ちょうちんねぶた



第39期 活動記録 [2023 (R05) .4 ~ 2024 (R06) .3]

◆ クラブ員数 : 41名 (5年21名・6年20名)

◆ 主な指導員 : 5名 (上田/森田(専任)・野村・船戸・岩政)

月 日	分 類	講 座 名	講座の内容 など
4	8 (式典)	開講式	場所:柳井市文化福祉会館
	22	ロボット工作	「メカ・マンモス」をつくろう-1 4足歩行の「メカ・マンモス」のキットづくり
5	13	ロボット工作	「メカ・マンモス」をつくろう-2 可変抵抗を使って歩く速度を変える改造
	27	乗物工作	「空飛ぶ乗り物」をつくろう-1 プラトンボ 発射装置づくり
6	10	ロボット工作	「メカ・マンモス」をつくろう-3 LEDで目を光らせる・鼻を動かすなどの改造
	24	乗物工作	「空飛ぶ乗り物」をつくろう-2 スカイコプター パラシュートの取り付け
7	8 絵画	未来の科学の夢絵画	夏休み明けまでに描きあげて応募
	22 工作	夏休みの作品づくりに取り組もう-1	各種キットを使っでの工作と改造
8	5 (交流会)		場所:KDDI維新ホール 8名が参加
	10 工作	夏休みの作品づくりに取り組もう-2	
	26 工作	夏休みの作品づくりに取り組もう-3	
9	9 電子工作	電子回路を学ぼう-1	ブレッドボードを使っでの各種LEDの点灯回路
	23 電子工作	電子回路を学ぼう-2	オルゴールを鳴らす回路
10	14 理科工作・観察	化石のレプリカづくり	山口博物館による出前講座 石こうを使っでの化石レプリカづくり
	28 理科工作	楽しい科学工作と実験	トクヤマ化楽クラブによる出前講座 偏光板万華鏡づくり・缶バッジづくり
11	11 工芸	六つ目編みのかごづくり-1	やわらかいカラーペーパーバンドを使用し での六つ目編みのかごづくり
	25 -	(中止)	(柳井小学校の行事と重なったため)
12	9 工芸	六つ目編みのかごづくり-2	
	16 木工工作	時計と写真立て付きのペンケース-1	木工の基礎の実習
1	13 木工工作	時計と写真立て付きのペンケース-2	時計の分解と活用・電動糸ノコの実習
	27 木工工作	時計と写真立て付きのペンケース-3	写真の撮影・加工・プリント
2	10 木工工作	時計と写真立て付きのペンケース-4	仕上げ
	24 (式典)	閉講式	場所:理科研修所
3	(活動発表)		柳井ロータリー・柳井西ロータリー例会にて

今期から講座の時間帯を、午前(9:30~11:30)に変更した。

4年ぶりに開催された「第11回チャレンジ創造コンテスト」に、当クラブから初めて2チームが同時出場となり、1チームが決勝の21チームに勝ち残った。

◆木工工作◆

時計と写真立て付きの
ペンケース

レーザーカッターで
文字の刻印もしたよ！



パラシュート付きスカイコプター



六つ目編みのかごづくり



外での遊びはやっぱり楽しい！

第40期 活動記録 [2024 (R06) .4 ~ 2025 (R07) .3]

◆ クラブ員数 : 40名 (5年23名・6年17名)

◆ 主な指導員 : 4名 (森田(専任)・船戸・野村・岩政)

月 日	分 類	講 座 名	講座の内容 など
4	(式典)	開講式	場所:柳井市文化福祉会館
	理科工作・観察	顕微鏡を作って色々なものを観察しよう-1	直径2mmのガラス玉を使ってのレーウエンフック顕微鏡づくり(倍率は約150倍)
5	理科工作・観察	顕微鏡を作って色々なものを観察しよう-2	ツユクサの気孔やタンポポの綿毛などを観察
	観察	海の微生物たちを観察しよう	岩国市由宇町微生物館による出前講座 レーウエンフック顕微鏡で微生物を観察
6	ロボット工作	水陸を走るロボットをつくろう-1	水陸を走ることのできる「アヒルロボット」の 工作キットづくり
	ロボット工作	水陸を走るロボットをつくろう-2	親子アヒルへの改造
7	絵画	未来の科学の夢絵画	今回から絵画専門の先生が指導 夏休み明けまでに描きあげて応募
	理科工作	(夏休み工作)ビー玉コースターを作ろう-1	配線用モール・板・ペットボトルなどを使った ビー玉ループコースターづくり
8	(交流会)	山口県発明クラブ交流会	場所:山口県社会福祉会館 21名が参加 博物館「大解剖!からくりワールド」の見学
	理科工作	(夏休み工作)ビー玉コースターを作ろう-2	コースターを連結して何回転できるかに挑戦
	理科工作	(夏休み工作)ビー玉コースターを作ろう-3	ループしたビー玉が丸いペットボトルの中で 回り続けるように工夫
9	工芸・造形	楽しく作って飾れる作品を作ろう-1	紙バンドを使って編む作品づくり 1回目は数種類の魚づくり
	工芸・造形	楽しく作って飾れる作品を作ろう-2	2回目は六つ目編みのボールづくり
10	工芸・造形	楽しく作って飾れる作品を作ろう-3	ボールの中に魚を糸で吊って飾るオブジェ づくり
	理科工作・実験	楽しい科学工作と実験	トクヤマ化楽クラブによる出前講座 印象材を使っての自分の指型づくり
11	理科工作	いろいろなコマを作ろう	CDとビー玉を使ったベンハムのコマづくり ビー玉と輪ゴムを使ったコマづくり
	理科実験	映像についての実験をしよう	アナグリフという3D映像の実験 コンピューター処理の3D動画を視聴
12	電子工作	センサーを使った電子工作をしよう-1	ブレッドボードを使ったLED点灯の基礎回路
	電子工作	センサーを使った電子工作をしよう-2	暗くなるとLEDが光るセンサーライトの回路
1	木工工作	木工作品作り-1	重ねて使える4種類のテトリス棚づくり
	木工工作	木工作品作り-2	3Dプリンターによる製作過程を実演 木工づくりに使える便利な治具
2	木工工作	木工作品作り-3	バーナーを使っての焼杉仕上げ レーザーカッターを使っての刻印
	(式典)	閉講式	場所:理科研修所
3	(活動発表)		柳井ロータリー・柳井西ロータリー例会にて

12月に実施された「第12回チャレンジ創造コンテスト全国大会」において最高位である「文部科学大臣賞」を初めて受賞した。8月の柳井地区大会においては、中学生チームを含めて過去最多の計6チームが参加。



印象材を使っでのリアルな指型づくり

赤青メガネをかけて
アナグリフ3D動画を鑑賞



ビー玉コースター

◆チャレコン◆
地区大会に参加した
6チームの作品



◆第31-40期 受賞の記録

第31期

2015 (H27)

(1) 2015やまぐち未来の科学の夢絵画展

◆佳作 (4名)

新庄小3 石黒倫 「四次元ホールを出すライト」

柳井小4 浅原隆之介

「世界一大きいぼうえんきょう」

柳東小4 桐山しおん 「空とぶ家」

柳井小6 初崎雛希 「何でも買える自動販売機」

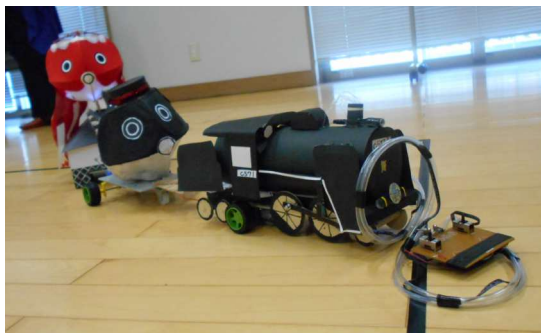
(2) 第6回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト
全国大会出場(東京工大)

◆チーム名:山口HST 「ふるさと山口号」 予選

余田小6 原田洸

柳井南6 斎藤翔

日積小5 船戸貴命



第32期

2016 (H28)

(1) 2016やまぐち未来の科学の夢絵画展

◆佳作 (6名)

柳井小3 二上真帆 「児童スイーツ機」

柳井小3 三澤佳歩

「いろんな動物と話せるスピーカー」

柳井小4 佐藤壮真 「手術めがね」

柳井小5 二上真如

「世界をのぞくことができる地球儀」

柳井小5 三澤彩乃 「恐竜をよみがえらせろ!」

柳井小6 中下真理 「花粉が飛ばなくなる薬」

(2) 第7回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト
全国大会出場(東京工大)

◆チーム名:ヒヅミーズ 「虫の祭典2016」 予選

日積小6 船戸貴命

日積小4 植本百合恵

日積小3 船戸望美



第33期

2017 (H29)

(1) 2017やまぐち未来の科学の夢絵画展

◆奨励賞

柳井小4 岩政颯駕 「天気操縦機」

柳井小6 瀬山尚平 「害虫駆除ライト」

◆佳作 (5名)

柳東小4 木村拓未 「先のことを見ぬくメガネ」

柳井小4 弘津星奈 「防災リュック」

柳井小4 三澤佳歩 「ぼうしの中で変身」

柳井小5 石黒倫 「ウィルス絶対消去ワクチン」

柳井小6 西本史奈 「気持ちが落ち着くスプレー」

(2) 第8回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト
全国大会出場(東京工大)

◆チーム名:ヒヅミーズ 「柳井の祭り」 予選

日積小5 植本百合恵

日積小4 船戸望美



第34期 2018 (H30)

(1) 2018やまぐち未来の科学の夢絵画展

◆佳作 (3名)

新庄小4 政田悠未子 「くつやサンダルに扇風機」

柳井小5 弘津星奈 「がんじょうテント」

柳井小6 石田悠晟

「自分で考えたゲームが作れる」

(2) 第9回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト
全国大会出場 (東京工大)

◆チーム名:ヒヅミーズ 「日積の様子」 予選

日積小6 植本百合恵

日積小5 船戸望美

日積小4 弘田千晴



(2) 第10回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト
全国大会出場 (東京工大)

◆チーム名:ヒヅミーズ 「日積の行事」 予選

日積小6 船戸望美

日積小6 岩政佑樹

日積小5 弘田千晴



※日積小のヒヅミーズが4年連続出場

第36期 2020 (R02)

2020やまぐち未来の科学の夢絵画展

◆優秀賞

新庄小4 政田菜々子

「いろんな花が咲くじょうろと鉛筆」



第35期 2019 (R01)

(1) 2019やまぐち未来の科学の夢絵画展

◆佳作 (5名)

新庄小4 相本紗央 「何にでも変形できる車」

柳井小4 楠本絢信 「シロクマを救え!」

柳井小4 福田桜彩 「いろいろスプレー」

日積小5 好村陽向

「気軽に宇宙へドライブ!無重力パイプと無重力車」

柳井小6 中川晴渡 「空を飛べる車」

◆奨励賞

柳井小4 金村樹吹

「虫を捕まえなくても観察できる虫かご」

◆佳作 (3名)

柳井小4 河村奈鶴美

「持たなくてもよいお散歩がさ」

新庄小6 政田悠未子 「バイキンが見えるメガネ」

日積小6 好村陽向 「自動ヘアアレンジマシン」

第37期 2021 (R03)

2021やまぐち未来の科学の夢絵画展

◆奨励賞

柳井南4 井手翔介

「海のゴミ回収マリーンロボット」

◆佳作 (3名)

大畠小4 上田悠仁 「ラクラクランドセル」

柳井小4 片桐優衣 「人の気持ちがわかるアプリ」

柳井小5 宮本大輔

「マイクロプラスチックハンター」

第38期 2022 (R04)

2022やまぐち未来の科学の夢絵画展

◆奨励賞

柳井小5 井原花 「海のゴミ変換!お魚ロボット」

◆佳作 (12名)

柳井小4 菅結月 「部屋おかたづけロボ」

柳井小4 吉村尋弥 「メガザメハウスで深海旅行」

柳井小5 河田芽果 「見守りロボ」

柳井小5 楠本瑞歩

「地球の空気をきれいにする気球」

新庄小5 坂本脩真

「海の中をきれいにするロボット」

柳井小5 重政晴琉

「二酸化炭素を酸素に変えるせんぷうき」

柳井小5 新本愛桜

「海ごみを使えるものにかえる機械」

柳井南5 山根璃紅 「わすれもの取り出し機」

柳井小6 古賀美月

「海の生き物を救え!ジンベイロボ」

柳井小6 小屋町欽太 「鳥型ゴミ回収ロボット」

柳井小6 野口咲楽

「生き物とおしゃべりできる首輪」

柳井小6 宮本大輔 「磁石型変化機」

第39期 2023 (R05)

(1) 2023 やまぐち未来の科学の夢絵画展

◆優秀賞

柳井小5 天林拓也

「空飛ぶ自動運転車型ドローン」



柳井小5 高木くらら

「月までとどけ!

ジェットコースター」



◆奨励賞

柳井小5 新山結菜 「らくちん!こんだて考え金魚」

◆佳作 (15名)

柳井小5 石丸実夏 「空気せんじょうバス」

新庄小5 坂本芽衣子

「ゴミをしぜんにかえるきかい」

柳井小5 菅結月 「かみ型Changer」

柳井南5 畑川裕貴 「地球をささえてくれる人々」

柳井小5 宮本悠輝

「二酸化炭素を酸素にしてくれるBOX」

柳井小5 安岡美聖 「悪夢そうじ機」

新庄小6 秋田一真 「ちょうちん型変空機」

柳井小6 河田芽果 「3分で治る薬」

柳井小6 上邊結月

「海洋ゴミを花にする魚ロボット」

柳井小6 五島采佳 「お助けロボット」

柳井小6 清水太智 「貧困0機」

柳井小6 新本愛桜

「耳のきこえない人が音楽をきける物」

柳井南6 長榮真里奈 「たく配ドローン」

柳井小6 中原綾花 「かみがたチェンジマシーン」

柳井小6 東田怜 「人々を助ける 動く避難所」

(2) 第11回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト
全国大会に選抜出場(11/25 愛知県)

◆チーム名:HKE 「柳井の踊り」

予選

新庄小 6 秋田一真

柳井小 6 小川笑梨紗



◆チーム名:発明柳井「ハッピーリサイクル」

決勝出場

柳井小 6 清水太智

柳井小 6 廣石聡一郎

柳井南 6 篠川潤



※初めて2チームが同時出場

第40期

2024 (R06)

(1) 2024 やまぐち未来の科学の夢絵画展

◆優秀賞 柳井小5 角恵佑 「お助けファイブロボ」



◆奨励賞 柳井小6 天林拓也

「海底トンネルを行くりニアモーターカー」

◆佳作 (11名)

柳井小5 宇野翼 「勉強を教えてくれるロボ」

柳井小5 河村真菜美 「植物おせわロボット」

柳井小5 森川蒼太

「オゾン層を修復して酸素を作る水素列車」

柳東小5 桑原結衣子 「科学の力」

新庄小5 杉本結月

「ペットもひなでできるシェルター」

余田小5 原しおり 「かえリンガル」

大畠小5 上田暁仁 「海のロボカメそうじ機」

柳井小6 ト部蒼翔 「日本を守るシールド」

柳井小6 岡村紬希 「吸湿バードさん」

柳井小6 川元柚月 「思い出のたまてばこ」

柳井小6 宮本悠輝 「クリーン発電ロボット」

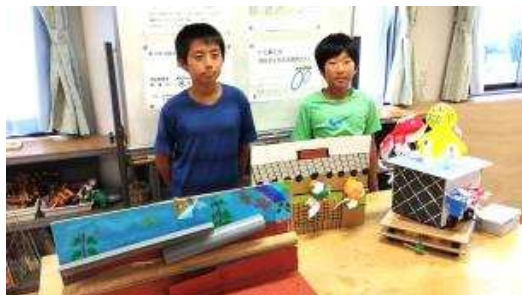
(2) 第12回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト
全国大会に選抜出場(12/14 愛知県)

◆チーム名:H&A 「柳井のみりよく」

予選

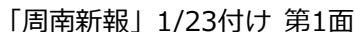
柳井小6 ト部蒼翔

柳井小6 高杉遥希



決勝出場
文部科学大臣賞を受賞

(2025年2月に山口県の令和6年度後期メダル
栄光(文化賞)を受賞)
(2025年8月に大阪万博で開催の世界青少年
発明工夫展(IEYI2025)に出場)



2025.1.16 KRY山口放送ニュース：
「お助けマシン」で文部科学大臣賞受賞！

2025.1.25 周防ケーブルネット：
チャレコン2024 文部科学大臣賞報告 YMT柳井

2025.2.11 NHK山口 情報維新!やまぐち645：
発明クラブで木工作品作り

2025.2.17 KRY山口放送ニュース：
山口県庁で「メダル栄光」授与式

2025.2.17 YAB山口朝日放送ニュース：
山口県庁で「メダル栄光」授与式

2025.2.27 NHK山口 情報維新!やまぐち：
特集 支局発

◆保護者・指導員の声

「40周年に思うこと」

第40期保護者の会 会長 宮本 美香

私の子どもは5年間この発明クラブでお世話になりました。毎回、活動日を楽しみにしておりました。コロナの中でもできる範囲で活動が続けてくださり、ロボットを作った日には、妹たちに自慢げに動かして見せたり、水中モーターをつけかえてお風呂に浮かべて遊んだり、ちょっと工夫して木工作品を作ってみたり、我が家には発明クラブでの作品があふれています。毎年夏に行われる、県内の発明クラブの集まりに参加して、他クラブの会員と交流するのも楽しかったようです。私も小郡での会に参加し、実験を見たり、ストロー笛を作ったりしていい思い出になっています。

毎回の活動を企画し、準備し、クラブ員と実際にやってみて、後片付けをする指導員の先生方は本当に大変だと思いますが、おかげさまで子どもたちは日頃なかなかできない貴重な体験をしています。ありがとうございます。また、40年も活動が続けられたのも協力会の会員の皆様のおかげであると感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、この柳井市少年少女発明クラブが末永く続き、子どもたちが色々な経験ができる事を願っております。

指導員 船戸 建志

柳井市に「発明クラブ」というものがあると知ったのは、今から16年前、長男が小学3年生の時でした。息子が学校から持ち帰った一枚の募集チラシを手に、「やってみたい」と言うので、「やると決めたなら、何があっても一年間やり通す」という条件で申し込みました。

その後、気がつけば3人の子ども全員が発明クラブに加入し、「チャレンジ創造コンテスト」にも4度（“ヒツミーズ”としては3度）出場しました。賞には届きませんでしたが、全国大会に参加できたことは貴重な経験となりました。

子どもたちは今、それぞれの道を歩み始めていますが、私は長女が小学6年生の時、指導者の一員として活動に参加することになり、今日に至ります。

子どもは好きでしたが、指導者として直接関わるのは初めてで、思いがうまく伝わるか葛藤しながらあっという間に7年が過ぎました。今は、活動のたびに子どもたちの成長を感じつつ、私も負けないようものづくりへの思いを巡らせ、これからも成長のきっかけをつくっていききたいと思います。

指導員 野村 啓二

平成28年度より指導員として携わってきました。私が心がけてきたことは、自分自身が科学的な視点を持って日常生活を送ったり、物づくりの難しさや楽しさを体験したりすることです。

発明クラブでは、できるだけ様々な体験をさせることで、物づくりの好きな子どもを育てたいと願い、幅広い内容と題材のバランスを考慮した年間計画を作成しています。

指導に当たっては、活動の目的と子どもの興味関心が両立するよう、いかに効果的に活動内容を仕組んでいくかを考えています。そのために、事前に物づくりや実験に取り組み、子どもの視点に立った題材の工夫や用具の準備をしています。

講座では、指導すべきところと子どもに任せ考えさせる場面を、事前に指導者間で共通理解を図り、できるだけ子どもの自主性を尊重し、見守り支援する形で取り組んでいます。活動の途中に見せる子どもたちの生き生きとした表情や集中して活動に取り組む姿は、我々指導員にとっての最高の喜びです。

発明クラブで培った経験が、未来を担う子どもたちの人生に生きて働く力となり、日本の物づくりを担う人材の創出に繋がることを期待しています。

指導員 岩政 国晴

柳井市少年少女発明クラブ発足40周年、誠におめでとうございます。18年間クラブ員のみなさんとのつくりに興じた日々を思い出し、感無量です。

さて、4年前の5月23日の朝日新聞の天声人語に、次のような意味の記事が載っていました。

地球は46億年前に誕生しました。人類にはまだ20万年の歴史しかない。もし地球全史を1年に圧縮すれば、人類は大みそかの「夜11時37分に生まれたばかりとなる。

太陽も地球の誕生とはほぼ同じ頃と考えられているので、地球・太陽・月と私たち人類の歴史は、このように1年というカレンダーにすることによって、億年の長さがよく見えてくると同時に、次々と私たちの知らない世界が広がってきました。

見えにくいものを見えやすくする。望んでいるものを現実のものにする。子どもたちの柔らかくて粹な発想が、不可能なものを可能なものにしてくれる。そして将来は、日本のものづくりを担う人材の創出につながっていくものと信じてやみません。

指導員 森田 雅和

クラブ員(子供たち)だけでなく、指導者(大人たち)も「面白くてたまらない」ような講座にすることをモットーとして年間計画を立て実施している・・・つもりです。とはいっても私たちの指導力不足・準備不足などから、クラブ員にとっては分かりづらかったり、タイクツな講座もこれまで少なからずあったことでしょう。それは、「定番の講座」や「キットづくり」を毎年繰り返しているのではなく、講座の内容がマンネリ化しないように、また時代の変化からおいていかなれないように、指導員たちには、少しでもいいから新しい技術や試み、最近の材料や工具を取り入れていきましょう、と言い続けて実施してきたからでもあります。指導側もなかなか大変なことではありますが、講座の手ごたえがあってみんなによるこんでもらえたときは、少しばかりの苦労なんかは吹っ飛んでいきます。

10年くらい前から、研修所の一角に子供たちが空いた時間には自由に遊んでOKのロボットや試作品のおもちゃ、パズルなど、できるだけ多く置くようにしました。その修理も実は大変ではあるのですが、今の子供たちがどんなものに興味を示して、どういう風にして遊ぶのか、を知ることがその目的の一つです。人気があるのは、やはりリモコンで自由自在に動かせるロボット類ですが、コマやハンドスピナー、ルービックキューブなど、ひと昔前の玩具やパズルにも夢中になって遊んでいる姿をみると、今度、こんな講座を取り入れてみたらどうかなといったアイデアとやる気も出てきます。毎年夏休みに実施されている山口県発明クラブ交流会において、この2年間、続けて特殊なコマの工作があり大好評でした。私も数年前に水中モーターとCD盤を使ったオリジナルの電動ゴマづくりの講座をやってクラブ員たちが大いに喜んだ姿を思い出しました。昨年度3Dプリンターを導入したのでその改良版を今度やろうかな？お楽しみにね！

また、PETボトルの本体とフタや牛乳パックなどは、一般的にはリサイクルに廻されていますが、発明クラブでは優れた工作材料たちです。フタは手作りの車のタイヤとして最適です。透明なPETボトル本体は、実験時のビーカーとして使えるし、一定の高さで切り揃えるとたくさんある小さな部品の容器として重宝します。PEでコーティングされていて耐水性の高い牛乳パックは加工もしやすく、船づくりに何度も使いました。できるだけ身近にある素材を使って、その特性を生かしながら異なる用途に活用していくこともぜひ学んでほしいなと思います。

第41期生以降のみなさんも先輩たちと同じように、私たちと一緒に、楽しく、面白く、できるだけ一生懸命に取り組んでいきましょう！



◆第40期クラブ員の声

日積小学校 5年 高崎 愉一

ぼくは、水陸を走るロボットを作って、できるようになったことがあります。それはどうやったらロボットを作れるか、どうすればできるか、を教えてもらって実際にやってみるということです。ぼくは今までめんどくさくてすぐに先生に手伝ってもらって、あまり理解していないことがありました。なので、考える力がついてとてもうれしかったです。

柳井小学校 5年 宇野 翼

トクヤマ化楽クラブの出前講座では、指の型取りと、しおりの作り方を教えてもらいました。指の型では、歯医者で使う液体に指をつっこみ、固まったら黄色の液体を流し込みました。型どりは、ぷにぷにされていておもしろかったです。しおりでは、ひとつの色のペンで紙に点をかいて、ぬらすだけでいろいろな色がでてきました。とても不思議でした。



柳井小学校 5年 鍵本 康太

一番楽しかったのは県発明クラブの交流会です。無限に回り続けるコマをつくりましたが、なぜ回り続けるんだろうかと思いました。これを最初に作った人はすごいなと思いました。もうひとつはビー玉コースターです。みんなのコースをつなげて、ビー玉を高いところから転がし、何回転でるかを競いました。ぼくたちは7回転させることができました。成功したときはうれしかったです。

柳井小学校 5年 角 恵佑

指型づくりでは、指紋など細かい部分まで再現ができていてすごいな、と思いました。未来の科学の夢絵画では、浜辺や海、宇宙のゴミを描くのがたいへんでした。工場のけむりをロボットの中でどうやって花火にかえようかと考えたり、カニやトンボも描いて自然を表現したりして細かな部分までがんばりました。

柳井小学校 5年 河野 和奏

楽しく作ってかざれる作品を作ろうでは、紙バンドを組み合わせるのがむずかしかったです。でも説明書よくみたり、先生に教えてもらいながらがんばりました。木工作品作りでは、つまかさねられるようなたなを作りました。板をのこぎりで切って、くぎをうちました。そのときにまちがえるとききちんとしたたなができないので、確認しながらていねいに作りました。

柳井小学校 5年 河村 環太

水陸を走るロボット作りが楽しかったです。ぼくはものを作るのは好きだけど、まだ得意ではないのでたいへんでした。けれども友だちや先生に手伝ってもらって作ることができました。楽しく作ってかざれる作品づくりは、はじめはあまりうまくつくれず、最初にもどったりしたけれど、これも友だちと先生に教えてもらって、自分でも細かい作業ができるようになり完成させることができました。

柳井小学校 5年 河村 真菜美

ビー玉コースターでは、うまく回転しなかったときは、コースを調節しながら転がすとうまく回転するようになりました。回転したときはとてもうれしかったです。がんばったことは、木工作品作りです。ちょっとでもずれたらいけないのですが、寸法どおり長さをはかって切るのがむずかしかったです。でもうまく作ることができてよかったです。

柳井小学校 5年 川本 悠貴

水陸を走るロボットでは、最初のギヤボックスを組み立てるところがむずかしかったです。完成後、みんなで遊んでとても楽しかったし、家で弟といっしょにおふろで遊んだらよろこんでくれました。木工作品づくりでは木まっすぐに切るのがむずかしかったです。でも完成するととてもうれしかったです。発明クラブでは、いろいろな工具の使い方を知ることができてよかったです。

柳井小学校 5年 重村 柚歩

未来の科学の夢絵画の活動では、先生にアドバイスをもらいながらいねいに描きました。色をぬるときは、いろいろな画材を使ってかいたり、二色以上まぜたりして工夫しました。映像についての実験では、人間の目は両目でちがう角度の画像を脳に送って、立体画像として認識していることを知りました。3Dメガネををしてみると立体的にみえて、家族で楽しむことができました。

柳井小学校 5年 新本 芹奈

未来の科学の夢絵画では、先生が私が知らない絵のかきかたを教えてくださいました。私は賞がとれなかったけれど今回のことを活かして来年も取り組みたいと思います。ビー玉コースターは、みんなのを組み合わせて6、7回転するように工夫しました。そのあとは、コースターの下部分のコースを作りました。わたしは、ゴールに鈴をつけて鳴るようにしました。

柳井小学校 5年 萩田 悠

ビー玉コースターのコースを作るのがおもしろかったのですが、なんとか作ることができました。同じテーブルの人たちとつなげてみましたが最後までビー玉が通ったので良かったです。色々なコマを作ろうでは、白と黒だけで描かれているもようの紙を回すと、ちがう色がみえてすごいと思いました。ほかにもたくさん実験したり作ることができて良かったです。

柳井小学校 5年 濱野 斗麻

水陸を走るロボットは、できあがったつもりだったけれど、走る向きが反対だったり、作りなおしても走らなかったりして苦労しました。同じようなパーツを間違えて使っているのがわかり、おそくなりましたがうまくできたので良かったです。木工作品作りは、のこぎりを使って切るのがうまくいかなくて苦労しましたが、1つは作りあげることができて良かったです。



柳井小学校 5年 藤元 啓太朗

センサーを使った電子工作では、コードをさしこむところを間違えるとLEDが光らないのでおもしろかったです。ちゃんと合っているところにさしこむと光らせることができました。県の発明クラブ交流会は、他のクラブの知らない人とも協力してつくって仲間になれたのが良かったです。発明クラブでは楽しいことや学んだことがたくさんあり、これからの生活にも活かしていきたいです。



柳井小学校 5年 森川 蒼太

水陸を走るロボットはどんなものか、とても楽しみにしていました。アヒル・ロボットを作りはじめるのがおもしろいとおもしろかったです。家に帰ってから水中モーターをとりはずしてスクリュプロペラをつけるなどして改造を楽しみました。ビー玉コースターではおもしろいしかけをたくさんつけて楽しみました。

柳井小学校 5年 桑原 結衣子

顕微鏡を作っていろいろなものを観察しようの活動が楽しかったです。木工作品作りでは、木を切ったあとにクギを打ってつなげてテトリス型のたなを作りました。がんばったことは、木の板をじょうずに切れるようになったことです。ノコギリは引くときに切れるので、力のいれかたをうまく調整することいいことがわかりました。

新庄小学校 5年 杉本 結月

顕微鏡を作ってツユクサの葉を観察したのが楽しかったです。ツユクサの葉の裏には気孔がたくさんあるということを初めて知りました。センサーを使った電子工作では、センサーでLEDを点けたり消したりできるということがわかりました。何の線をどこにさし込んでどこにつなげるかを先生の説明を聞きながらがんばって完成させました。

新庄小学校 5年 竹本 治太

ビー玉コースターを作って遊んだのが楽しかったです。同じテーブルの人たちとコースターをつなげてどこまで回転していくのかをみんなで協力しあって作って遊んだのが楽しかったです。いろいろなコマ作りでは、CDの中心の穴にビー玉をつけて作るなんて思いもしませんでした。発明クラブではきょうな体験ばかりでした。これを活かしてがんばっていきたいです。

新庄小学校 5年 久田 巳晴

木工作品作りでは、つくる順番が少しむずかしかったけれど、テトリスだなをうまく作ることができてよかったです。3Dプリンターを使ってものをつくっていくところを初めてみました。糸のような樹脂を溶かしてちょっとずつかさねていって作っていくという仕組みを知ることができてよかったです。

余田小学校 5年 原 しおり

ビー玉コースターは友だちと協力して作りました。わからないところを教え合って、とてもうまく作ることができました。みんなでつなげてビー玉が何回転するのかを競うのも楽しかったです。ビー玉がしっかりと回るための転がす高さを考えるのがむずかしかったです。県の発明クラブ交流会では他のクラブの人たちとも交流することができてよかったです。



伊陸小学校 5年 西山 茉結

水陸を走るロボットでは、組み立てる順番をまちがえないように、また、どこにどの部品を使うのかを考えながら作りました。部品をどの向きにどのようにつけていくのかがむずかしかったです。トクヤマの出前講座では、指の型を作ったり、しおりを作ったりしました。がんばってやって楽しかったです。

伊陸小学校 5年 溝口 真二郎

水陸を走るロボットづくりでは、歯車がなかなかかみ合わなくて苦労しました。だけど、ちゃんとはまると動くようになってすごうれしかったし、楽しかったです。センサーを使った電子工作では、仕組みがわかると楽しかったし、小さな部品なのにセンサーとして使えたのすごいなと思いました。

大畠小学校 5年 上田 暁仁

水陸を走るロボットでは、ギヤボックスを組み立てる順番や水中モーターの組み立てが、図面をみながらやったのですが、少しむずかしかったけれど楽しかったです。アヒル・ロボットが動いたときはとてもうれしかったです。トクヤマの講座では、指型を印象材を使って作り、石こうを流し込んで作りました。ペーパークロマトでは、サインペンのインクを水で分けることができて楽しかったです。



大畠小学校 5年 山岡 圭佑

一番楽しかったのは、顕微鏡を作っているいろいろなものを観察したことです。次に楽しかったのは、水陸を走るロボットとして作ったアヒル・ロボットです。作るのがむずかしかったけれど、先生や友だちの助けをかりながら完成させることができました。楽しかったです。

日積小学校 6年 森光 幸穂

トクヤマの講座では、指型としおりを作りました。特に指型を作るのが楽しかったです。できたときには、あまりのリアルさにびっくりしました。友だちに見せたときに「うわー、すげー!」といわれてうれしかったです。木工作品作りでは、テトリスだなを作りました。L形とT形のものを作りました。クギを打つとき、へんな方向に曲がったりして大変でしたが無事に作り上げることができてよかったです。

柳井小学校 6年 青木 悠莉

ロボット工作は去年は一人ではあまり作れなくて友だちと先生に手伝ってもらっていたけれど、今年は最後まで一人で作れるようになりました。チャレンジ創造コンテストは、今年はじめて挑戦して、難しいところやできないところがあったけれど、友だちと協力して完成させることができました。これからもこの経験を活かしていきたいです。

柳井小学校 6年 天林 拓也

交流会では、スプーンの上でずっと回り続ける不思議なコマを他のクラブの人たちと協力して作り上げたり、からくりなどの展示品を友だちとみて回ったりしました。コマやからくりの原理を知るとはとても楽しかったです。未来の科学の夢絵画展では2年連続で賞をとることができたのでうれしかったです。3年間、1回も休まずに活動できたのも良かったです。

柳井小学校 6年 石丸 実夏

交流会では、回り続けるコマを作ることができて楽しかったです。チャレンジ創造コンテストでは全国大会に出場しました。大会では、予選を通過し決勝にいくて、文部科学大臣賞をとることができ、とてもうれしかったです。他のチームのパフォーマンスをみたり、となりでやっていた工作スペースに、チームの3人のメンバーでいたりして、とても楽しい時間でした。

柳井小学校 6年 ト部 蒼翔

交流会では、初めて会う人となりの席になってとてもきんちょうしました。だけど、話しながら作っていくうちにだんだんと仲良くなることができました。いつかその子とまた何かを作りたいなと思いました。チャレンジ創造コンテストでは全国大会に出場しましたが、決勝に残れずとてもくやしかったです。でもいつも失敗していたパフォーマンスも成功したし、作るのも楽しかったです。



柳井小学校 6年 岡村 紬希

交流会では山口県からたくさんのクラブの人たちがきていて、作り方がわからなくなったときは、班の人と協力して作ることができました。交流をつうじて他のクラブの人たちを知ることができて良かったです。チャレンジ創造コンテストでは全国大会にいくことができ、さらに文部科学大臣賞をとることができました。予選も決勝もすごくきんちょうしたけれど、いいパフォーマンスができました。



柳井小学校 6年 川元 柚月

水陸を走るロボットを作るのはむずかしかったけれど、完成したらうれしかったです。科学の夢絵画は何を描くかまよったけれど、きちんと描けて良かったです。ほかの活動も楽しく、安全に活動ができてよかったと思います。これから、いろいろなことに役に立てていけたらいいなと思います。

柳井小学校 6年 菅 結月

ビー玉コースターでは、レールをどのくらいの高さで丸めたらよいか、いろいろと工夫をしてみました。ビー玉がコースからはずれないようにするのはとてもむずがしかったけれど、うまくいったときはとてもうれしかったです。チャレンジ創造コンテストでは、チームを組んだ友だちといっしょにロボットを作りました。全国大会にはいけなかったけれど、いい思い出になりました。

柳井小学校 6年 高杉 遥希

交流会では、スプーンの上でずっと回り続けるコマを作り、博物館に行って3Dを楽しむことができました。トクヤマの講座では、指の型を作ったり、色々な色のしおりを作ったりして面白かったです。チャレンジ創造コンテストでは、夏休みの間にがんばって作り、全国大会に出場することができました。決勝に残れなかったけれど、全力を出し切れたので良かったです。

柳井小学校 6年 田中 若葉

木工工作は最後までできなかったけれど楽しくできて心に残りました。はじめていった交流会は、回り続けるコマをがんばってつくるのができて、たっせい感がありました。そのあと、博物館に行ったのも楽しくて、発明クラブでの一番の思い出になりました。

柳井小学校 6年 成本 朔矢

水陸を走るロボットはすごくむずかしかったです。とくに、こまかい部品を小さな穴にいれたりするのがむずかしかったけれど完成して良かったです。ビー玉コースターでは、台になる木の板を切るのがむずかしかったです。でも最後にはちゃんと作れてうれしかったです。1年間ありがとうございました。



交流会（山口市）

柳井小学校 6年 新山 結菜

私は、チャレンジ創造コンテストが一番心に残っています。なぜなら全国大会で愛知県に行けたからです。6月から夏休みにかけて、みんなで集まってものづくりや練習をがんばりました。全国大会に行けると決まったときはうれしかったです。全国大会では他のチームもすごいなと思いました。私たちはうまく発表ができ、文部科学大臣賞がとれました。一生忘れられない思い出になりました。

柳井小学校 6年 兵頭 瑠希也

ぼくの印象に残った講座は、化石のレプリカづくりです。なぜならふだんにこんなことはやったことがなかったからです。きょうなたいけんができて良かったです。（※5年生の時の感想文です）

柳井小学校 6年 宮本 悠輝

交流会ではスプーンの上で回り続ける不思議なコマを作りました。少し難しかったけれど他のクラブの人たちといっしょに楽しく作ることができて良かったです。3Dプリンターは、立体のものを作ることができてすごいと思いました。それにふつうでは作れないようなものも作ることができてびっくりしました。これから、発明クラブで学んだことを活かしていきたいと思います。

柳井小学校 6年 吉村 尋弥

ぼくは、トクヤマの講座で、指の型を作るのをがんばりました。固まるまで指を動かさないようにしておくのが大変でした。木工作品作りでは、ノコギリで切るときやクギをうつときに、ずれたりしてむずかしかったけれど、友だちに手伝ってもらったりしてなんとかできて良かったです。

新庄小学校 6年 木下 愛結

水陸を走るロボットでは、説明書を読んで作るということがむずかしくて、なかなかすまなかったけれど、となりの人や先生が教えてくれたので最後まで作ることができました。うれしかったけれど、動かなかったのも、どこかわるいのだろうかと考えながら直していったらちゃんと動いたので良かったです。ビー玉コースターは、作る順番をまちがえずにやったので、いいものが作れました。

新庄小学校 6年 立畠 昂樹

水陸を走るロボット（アヒル）では、組み立てる順番を間違えずにするようにがんばりました。ぼくは力が弱いので押し込んで部品をはめるときなどは苦労しました。また、グリスをぬるときに手について大変でした。木工工作では、3Dプリンターで作られたクギ打ちの治具を使ったのですが、しんちょうにするとうまくクギが打てるようになったので良かったです。



閉講式

◆資料編

第40期（2024(令和6)年度）運営委員名簿

所 属	氏 名	所 属	備 考
顧 問	西元 良治	柳井市教育委員会教育長	
協力会	田村 泰三	発明クラブ協力会会長	運営副委員長
総 務	藤田 良人	発明クラブ協力会副会長	
	勝村 靖夫	発明クラブ協力会副会長	
	岡原 恵子	柳井市立柳井南小学校長	運営委員長
	河内 啓次	柳井市立柳井小学校長	
	森田 雅和	柳井市理科研修所指導員	運営副委員長・(兼)指導者・事務局
	船戸 建志		(兼)指導者
	宮本 美香	保護者の会会長	
	石丸 早織	保護者の会副会長	
	有道 茂一	生涯学習・スポーツ推進課長	
事務局	川元 宏章	生涯学習・スポーツ推進課	

第40期（2024(令和6)年度）指導者名簿

	氏 名	所 属	備 考
指導者	森田 雅和	柳井市理科研修所指導員	運営副委員長
	船戸 建志	運営委員	
	野村 啓二	元柳井市理科研修所指導員	
	岩政 国晴	元柳井市理科研修所指導員	

柳井市少年少女発明クラブ協力会員名簿 (2025年4月現在)

No.	協力者名 (敬称略)	No.	協力者名 (敬称略)
1	あさひ製菓(株)	31	田村 泰三
2	亜細亜物産(株)	32	中国電力(株)柳井発電所長
3	(株)アデリー	33	中国電力ネットワーク(株)柳井ネットワークセンター
4	池田美喜男税理士事務所	34	(株)ティーレックス
5	井森工業(株)	35	(有)都野書店
6	イワキ測量設計(株)	36	西海 俊夫
7	有限会社エスアンドイー	37	虹ヶ浜整形外科クリニック
8	(株)オイニョン	38	(株)沼田ヤンマー商会
9	海田保険事務所	39	延河鉄工所
10	(有)金井石油店	40	BSG合同会社
11	カワノ工業(株)	41	東山口信用金庫
12	桑原整形外科医院	42	広島銀行 柳井支店
13	こうだクリニック	43	普慶寺
14	(株)合同 ダスキン柳井支店	44	(株)フジタトーヨー住器
15	社会福祉法人 恒和会	45	(株)フジマ
16	西京銀行	46	安原環境テクノロジー(株)
17	(株)斉藤商事	47	柳井化学工業(株)
18	斉藤道場	48	柳井産業運輸(株)
19	(有)サンクス	49	柳井青年会議所
20	三新化学工業(株)	50	柳井西ロータリークラブ会長
21	志熊眼科医院	51	柳井ライオンズクラブ会長
22	清水動物病院	52	柳井ロータリークラブ会長
23	代田八幡宮	53	山口銀行柳井支店長
24	誓光寺	54	(有)山中
25	(有)青風社		
26	セイルドオーシャン株式会社柳井クルーズホテル		
27	(有)タイセイ電機		
28	太陽通信(株)		
29	(株)ダイワ		
30	(株)宝計機製作所		

歴代の主な委員・指導員名簿

期	年度	運営委員長	協力会会長	専任指導員・事務局	主 な 指 導 員		
1	1985 (S 60)	清力和治	政田敏雄	福田信雄	河村信男	-	-
2	1986 (S 61)	清力和治	政田敏雄	平川 萌	河村信男	-	-
3	1987 (S 62)	清力和治	政田敏雄	平川 萌	河村信男	-	-
4	1988 (S 63)	清力和治	政田敏雄	平川 萌	河村信男	-	-
5	1989 (H 01)	重田純堯	政田敏雄	貞永保太郎	河村信男	富山 孝	-
6	1990 (H 02)	重田純堯	政田敏雄	貞永保太郎	河村信男	富山 孝	-
7	1991 (H 03)	河原兌治	政田敏雄	貞永保太郎	河村信男	富山 孝	-
8	1992 (H 04)	青木 正	政田敏雄	森山洋司	河村信男	富山 孝	-
9	1993 (H 05)	藤川典信	政田敏雄	森山洋司	河村信男	富山 孝	森田雅和
10	1994 (H 06)	青木 正	政田敏雄	森山洋司	河村信男	富山 孝	森田雅和
11	1995 (H 07)		政田敏雄	森山洋司	河村信男	富山 孝	森田雅和
12	1996 (H 08)		政田敏雄	森山洋司	河村信男	富山 孝	森田雅和
13	1997 (H 09)		政田敏雄	森山洋司	河村信男	富山 孝	森田雅和
14	1998 (H 10)		政田敏雄	藤本哲夫	河村信男	富山 孝	森田雅和
15	1999 (H 11)		政田敏雄	藤本哲夫	河村信男	富山 孝	森田雅和
16	2000 (H 12)		政田敏雄	藤本哲夫	河村信男	富山 孝	森田雅和
17	2001 (H 13)	住田旭昭	政田敏雄	藤本哲夫	河村信男	富山 孝	森田雅和
18	2002 (H 14)	住田旭昭	政田敏雄	藤本哲夫	河村信男	富山 孝	森田雅和
19	2003 (H 15)	和泉幸雄	政田敏雄	藤本哲夫	河村信男	富山 孝	森田雅和
20	2004 (H 16)	和泉幸雄	政田敏雄	藤本哲夫	河村信男	富山 孝	森田雅和
21	2005 (H 17)	和泉幸雄	大和清美	福田弘之	河村信男	富山 孝	森田雅和
22	2006 (H 18)	和泉幸雄	大和清美	福田弘之	河村信男	-	森田雅和
23	2007 (H 19)	山方 純	大和清美	岩政国晴	河村信男	-	森田雅和
24	2008 (H 20)	小川文朗	大和清美	岩政国晴	河村信男	-	森田雅和
25	2009 (H 21)	小川文朗	田村泰三	岩政国晴	河村信男	-	森田雅和
26	2010 (H 22)	竹山 晃	田村泰三	山方 純	河村信男	-	森田雅和
27	2011 (H 23)	竹山 晃	田村泰三	山方 純	河村信男	-	森田雅和
28	2012 (H 24)	岡瀧道信	田村泰三	山方 純	河村信男	-	森田雅和
29	2013 (H 25)	岡瀧道信	田村泰三	山方 純	-	-	森田雅和
30	2014 (H 26)	岡瀧道信	田村泰三	山方 純	-	-	森田雅和
31	2015 (H 27)	岡瀧道信	田村泰三	山方 純	岩政国晴	-	森田雅和
32	2016 (H 28)	中村雅之	田村泰三	野村啓二	岩政国晴	山方 純	森田雅和
33	2017 (H 29)	中村雅之	田村泰三	野村啓二	岩政国晴	-	森田雅和
34	2018 (H 30)	弘田和彦	田村泰三	野村啓二	岩政国晴	-	森田雅和
35	2019 (R 01)	弘田和彦	田村泰三	野村啓二	岩政国晴	船戸建志	森田雅和
36	2020 (R 02)	重岡正幸	田村泰三	野村啓二	岩政国晴	船戸建志	森田雅和
37	2021 (R 03)	神田芳伸	田村泰三	野村啓二	岩政国晴	船戸建志	森田雅和
38	2022 (R 04)	神田芳伸	田村泰三	岡崎清美	野村/岩政	船戸建志	森田雅和
39	2023 (R 05)	松本光司	田村泰三	上田貴司/森田雅和	野村啓二	船戸建志	岩政国晴
40	2024 (R 06)	岡原恵子	田村泰三	森田雅和	野村啓二	船戸建志	岩政国晴

クラブ員数の推移

期	年度	学 年				合 計
		3年	4年	5年	6年	
1	1985 (S 60)					60
2	1986 (S 61)					
3	1987 (S 62)					
4	1988 (S 63)					
5	1989 (H 01)					
6	1990 (H 02)					
7	1991 (H 03)					
8	1992 (H 04)					
9	1993 (H 05)					
10	1994 (H 06)					
11	1995 (H 07)	25	7	18	3	53
12	1996 (H 08)	25	32	13	15	85
13	1997 (H 09)	18	24	15	5	62
14	1998 (H 10)	17	14	9	7	47
15	1999 (H 11)	8	14	10	5	37
16	2000 (H 12)	7	11	9	8	35
17	2001 (H 13)	9	12	9	8	38
18	2002 (H 14)	16	18	15	11	60
19	2003 (H 15)	10	17	11	11	49
20	2004 (H 16)	11	11	14	6	42
21	2005 (H 17)	22	15	12	7	56
22	2006 (H 18)	12	13	12	9	46
23	2007 (H 19)	17	15	6	6	44
24	2008 (H 20)	15	25	10	3	53
25	2009 (H 21)	17	13	5	6	41
26	2010 (H 22)	10	12	17	5	44
27	2011 (H 23)	20	15	6	11	52
28	2012 (H 24)	19	16	13	5	53
29	2013 (H 25)	-	24	20	12	56
30	2014 (H 26)	-	17	22	15	54
31	2015 (H 27)	14	10	12	12	48
32	2016 (H 28)	23	20	6	6	55
33	2017 (H 29)	-	19	18	6	43
34	2018 (H 30)	-	11	21	11	43
35	2019 (R 01)	-	19	7	21	47
36	2020 (R 02)	-	19	22	7	48
37	2021 (R 03)	-	10	18	17	45
38	2022 (R 04)	-	7	30	14	51
39	2023 (R 05)	-	-	21	20	41
40	2024 (R 06)	-	-	23	17	40

※ - 募集を取り止め（人数調整のため）

※ 1期から10期は詳細が不明

柳井市少年少女発明クラブ運営要項

(名 称)

1 本クラブは、柳井市少年少女発明クラブと称する。

(設 置)

2 本クラブは、柳井市教育委員会と一般社団法人山口県発明協会の共催事業とし、柳井小学校内の柳井市理科研修所内に設置する。

(事務局)

3 本クラブの事務局は、柳井市教育委員会内に置く。

(目 的)

4 本クラブは、少年少女に科学的な興味と関心を追求める場を提供し、家庭や学校環境の制約を離れた集団の中で創作活動を通じ完成の喜びを体得させ、科学的発想に基づく生活態度を育成するとともに、創造性豊かな人間形成を図ることを目的とする。

(活 動)

5 本クラブは、目的達成のため次の活動を行う。

(1) 少年少女の創造性をできるだけ発揮し得るよう楽しみながら自由な発想で製作や加工を行う。

(2) 特定のテーマで、みんなで創意工夫しながら製作活動を行う。

(3) 発想、計画、集団討議や技術の指導を受けながら科学的な見方や考え方を学ぶ。

(4) 展示会を開催し、一般に公開する機会をもつとともに普及啓発を図る。

(5) その他、本クラブの目的達成に必要な活動を行う。

(開講期間)

6 本クラブの開講期間は、毎年4月から翌年3月までの間とする。

(開講日)

7 本クラブの開講日は、月2回を基準とし土曜日を原則とする。ただし、学校の長期休業中あるいは、日曜日、祝祭日については別途計画する。

(会員資格)

8 本クラブの会員は、柳井市に在住の小学校4年生以上から6年生までの児童とする。

(入会申込)

9 本クラブへの入会希望者は、入会申込書に所定の事項を記入して事務局に提出する。

(構 成)

10 本クラブの会員は、事務局において当該年度の募集予定人数を決め募集し、年間を通し固定メンバー制とする。

(参加費)

11 本クラブの参加費は、無料とする。ただし、製作に必要な材料費は、各自負担とする。

(傷害保険)

12 本クラブに入会許可された者は、参加中の傷害に対処するため、必ず傷害保険に加入する。

(傷害保障)

13 参加中に起こった傷害についての保障は、傷害保険の保障の範囲内とし、その後の責任は、いっさい負わない。

(運営委員会)

14 本クラブに運営委員会を置く。

(1) 運営委員会は委員若干名をもって構成し、教育長が選任する。

(2) 運営委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(3) 委員の互選により、運営委員会に委員長・副委員長を置く。

(4) 運営委員会は、委員長が招集し、年1回以上開催する。

(5) 運営委員会に顧問若干名を置き、委員長が選任する。

(6) 運営委員会は、本クラブの目的達成のため、次の事項について審議する。

ア 年間計画に関すること。

イ 運営費に関すること。

ウ その他、運営上重要な事項に関すること。

附 則

この要項は、平成23年4月5日から施行する。

附 則

この要項は、平成28年3月31日から施行する。

附 則

この要項は、平成29年1月31日から施行する。

附 則

この要項は、平成29年3月31日から施行する。

柳井市少年少女発明クラブ保護者の会規約

(名 称)

1 本会は、柳井市少年少女発明クラブ保護者の会と称する。

(目 的)

2 本会は、子どもたちが柳井市少年少女発明クラブの目的達成のために行う各種活動を援助し、その発展を期することを目的とする。

(事 業)

3 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

(1) 発明クラブの事業費を援助する。

(2) その他、発明クラブの目的達成に必要と認められること。

(組 織)

4 本会は、柳井市少年少女発明クラブに参加する子どもを持つ保護者で、本会の趣旨に賛同され、年会費を納めた者をもって組織する。

(役 員)

5 本会に、次の役員を置くものとする。

会長 1名 副会長 1名 会計 1名

(2) 役員の選出は、総会において会員の中から選出し、任期は1年とする。ただし、次年度の役員が選出されるまでは留任するものとする。

(会計年度)

6 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まって、翌年3月31日に終わるものとする。

(会 費)

7 本会の会費(材料費)は、1年1口3,000円とする。

(事務局)

8 本会の事務局は、柳井市教育委員会に置く。

(その他)

9 この規約はこれに定めるものの他、必要な事項は別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月18日から施行する。

この規約は、平成24年4月14日から施行する。

この規約は、平成25年4月13日から施行する。

柳井市少年少女発明クラブ協力会規約

(名 称)

1 本会は、柳井市少年少女発明クラブ協力会と称する。

(目 的)

2 本会は、子どもたちが柳井市少年少女発明クラブの目的達成のために行う各種活動を援助し、その発展を期することを目的とする。

(事 業)

3 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

(1) 発明クラブの事業費を援助すること

(2) その他、発明クラブの目的達成に必要と認められること

(組 織)

4 本会は、本会の主旨に賛同される正会員並びに賛助会員で、年会費を納めた人をもって組織する。

(会 議)

5 本会の会議は、総会及び理事会とし、総会は毎年1回、また理事会は必要に応じて開催する。

(役 員)

6 本会に次の役員を置くものとする。

会長 1名 副会長 2名 理事 若干名

事務局長 1名 監査 1名

7 役員の選出は、総会において会員の中から選出し、任期は1年とし再任は妨げない。

(会計年度)

8 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まって、翌年3月31日に終わるものとする。

(会 費)

9 本会の会費は、正会員は1年1口10,000円を原則とする。

(事務局)

10 本会の事務局は、柳井市教育委員会生涯学習・スポーツ推進課に置く。

(その他)

11 この規約に定められるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この規約は、昭和60年7月27日から施行する。

この規約は、平成18年5月9日から施行する。

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

各ホームページへのリンク先

◆公益社団法人 発明協会

<https://koueki.jiii.or.jp/index.html>



◆一般社団法人 山口県発明協会

<https://yiii.or.jp/>



◆はつめいキッズ

<https://kids.jiii.or.jp/>



◆山口県柳井市

<https://www.city-yanai.jp/>



◆全国少年少女チャレンジ創造コンテスト(通称:チャレコン)

チャレコン全国大会
結果報告



[https://kids.jiii.or.jp/
main/challecon/challecon-archive](https://kids.jiii.or.jp/main/challecon/challecon-archive)

◆柳井市少年少女発明クラブ

[https://www.city-yanai.jp/
soshiki/27/hatsumei-club.html](https://www.city-yanai.jp/soshiki/27/hatsumei-club.html)



[柳井からの出場チーム名]

- | | |
|-----------|----------------------------|
| 第12回チャレコン | H&A / YMT柳井
※チームが映っています |
| 第11回チャレコン | HKE / 発明柳井
※チームが映っています |
| 第10回チャレコン | ヒヅミーズ |
| 第9回チャレコン | ヒヅミーズ |
| 第8回チャレコン | ヒヅミーズ |
| 第7回チャレコン | ヒヅミーズ |
| 第6回チャレコン | 山口HST |
| 第5回チャレコン | スピード☆スター |
| 第4回チャレコン | (出場ならず) |
| 第3回チャレコン | チーム飛龍 |
| 第2回チャレコン | (出場ならず) |
| 第1回チャレコン | 新庄最強トリオ
※報告書・写真(pdf)あり |

編集後記

柳井市少年少女発明クラブは、創立40周年を迎え、活動のまとめとして「創立40周年記念誌」を刊行いたしました。

主として、この10年間の活動記録をまとめましたが、「40年のあゆみ」としてこの間のトピックスを、未掲載の写真も交えて特集いたしました。その目玉となっているのが、第1期生である重本氏の卒業文集に収められた作文であります。この文集を大切に保管され、お貸しいただいたご両親様に改めて感謝申し上げます。皆様方には、「40年間のこの時期にはこんなことがあったんだ」と懐かしみながらご覧いただけると幸いです。

40年間の長きにわたり、当クラブの活動を物心両面から支えていただいた公益社団法人発明協会、一般社団法人山口県発明協会、柳井市、柳井市少年少女発明クラブ協力会、同運営委員会、同保護者の会の皆様方並びに出前講座を御担当いただいた講師の方々に厚く感謝を申し上げます。

また、本記念誌にご寄稿いただいた皆様方には心よりお礼を申し上げます。

編集員一同

発行：2025年(令和7年)10月発行

創立40周年記念誌

発行者：柳井市少年少女発明クラブ

責任者 森田 雅和

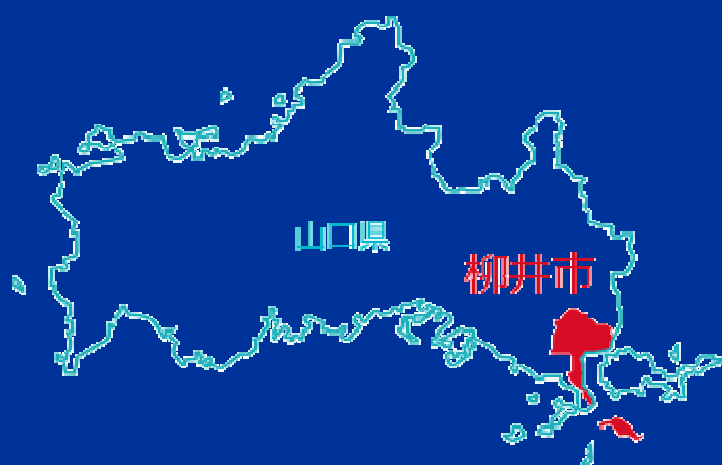
事務局：柳井市教育委員会 生涯学習・スポーツ推進課

〒742-0021 山口県柳井市柳井3670番地1

Tel：0820-25-2424 FAX：0820-25-2433

印刷：株式会社 プリントパック

2025.10 600



柳井市少年少女発明クラブ

活動場所：柳井市理科研修所
(柳井市柳井3680-4 柳井小学校内)